

## 令和2年度 練馬区がん検診無料チケット事業について

## 1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は20歳、乳がん検診は40歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

## 2 事業内容

検診初年度となる子宮がん20歳、乳がん検診40歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付。

## 無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、検診に対する誤解や不安を払拭する。

## 啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

## 3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診（20歳）	11.0%
乳がん検診（40歳）	26.0%

目標受診率：国実施のクーポン事業における全国平均受診率。

## 4 実施状況

## &lt;対象者&gt;

子宮がん検診（20歳）	平成12年4月1日～平成13年3月31日生まれ
乳がん検診（40歳）	昭和55年4月1日～昭和56年3月31日生まれ

## &lt;対象者数、受診件数および受診率&gt;

## 子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
29年度	3,445人	174件	5.1%
30年度	3,584人	206件	5.7%
令和元年度	3,540人	187件	5.3%
令和2年度	3,687人	248件	6.7%

## 乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
29年度	5,455人	1,290件	23.6%
30年度	5,285人	1,190件	22.5%
令和元年度	5,212人	1,125件	21.6%
<b>令和2年度</b>	<b>5,162人</b>	<b>1,082件</b>	<b>21.0%</b>

< 発送日 >

令和2年6月22日(月)

(令和2年度は緊急事態宣言の発出に伴い、例年4月の発送を6月に後倒しした。)

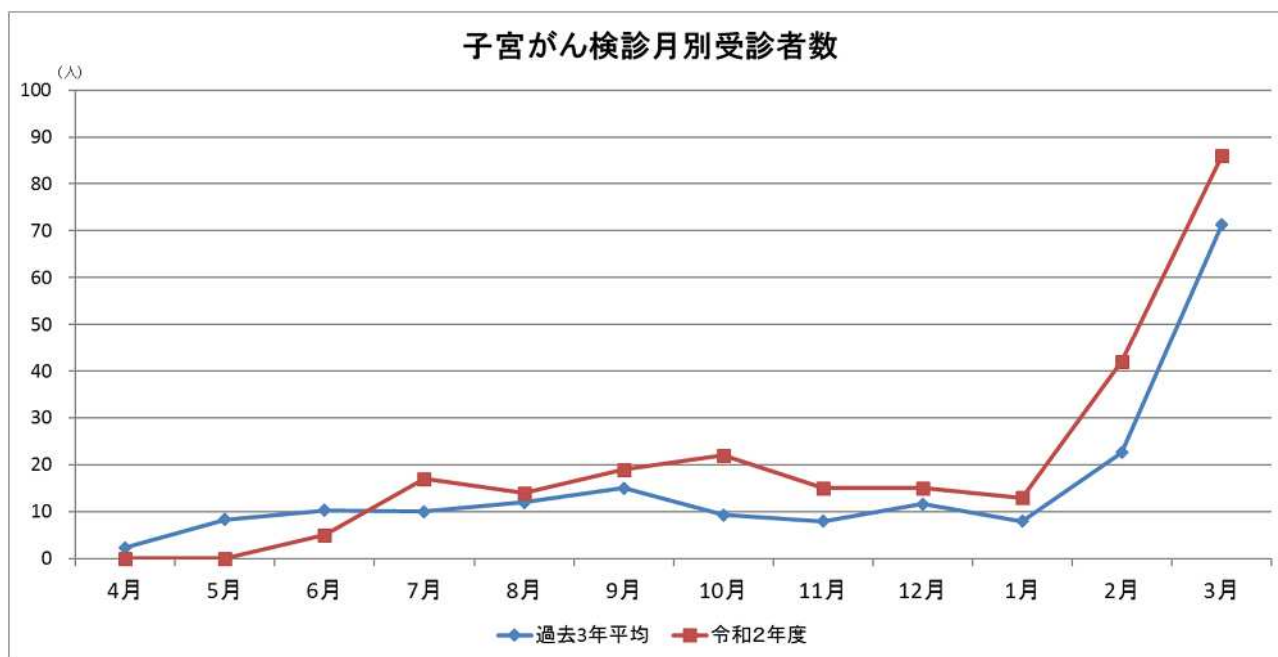
## 5 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するため、過去3年(平成29~令和元年度)の平均と比較した。

### 【子宮がん検診】

令和2年度はコロナ禍だったが、受診数、受診率共に過去3年平均を上回った。

令和2年度 248人(6.7%)、過去3年平均 189人(5.4%)



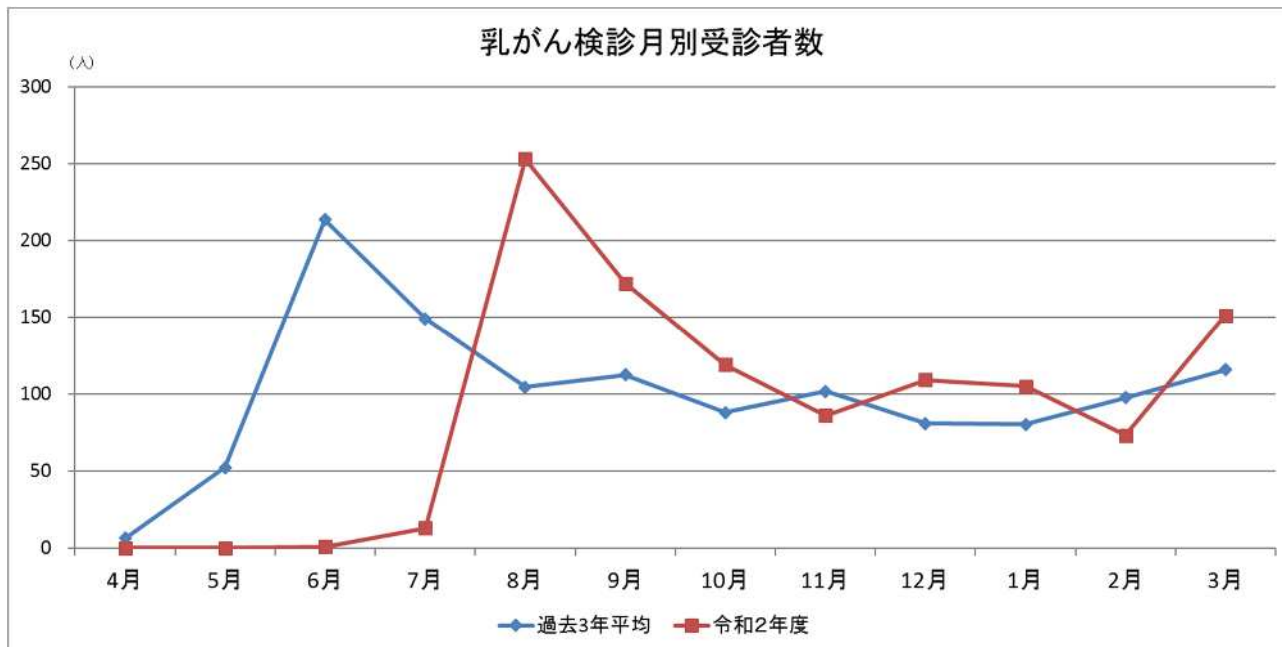
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	2	8	10	10	12	15	9	8	12	8	23	71	189
令和2年度	0	0	5	17	14	19	22	15	15	13	42	86	248

## 【乳がん検診】

乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、6月以降の受診状況を比較する。

令和2年度は無料チケット送付から2か月後は例年通り受診者数が大幅に増えたものの、合計では受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和2年度 1,082 人(21.0%)、過去3年平均 1,202 人(22.6%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	6	52	213	149	104	112	88	102	81	80	98	116	1,202
令和2年度	0	0	1	13	253	172	119	86	109	105	73	151	1,082

## 6 考察

東京都が実施した受診状況調査結果では、都内の令和2年度子宮がん検診受診者数は減少傾向にある中、練馬区においては、受診数、受診率共に増加となった。

乳がん検診は受診数、受診率共に減少となったが緊急事態宣言に伴い、無料チケットの発送が例年より2か月後倒しとなり使用期間が短くなったことが一因とも考えられる。

なお、乳がん検診は昨年度に引き続き40～44歳の受診率が36.7%とすべての年齢層の中で最も高い結果となっており、これは無料チケットによる継続受診の効果であると想定できる。